

取組と目標に対する自己評価 平成30年度実績評価シート
(美里町)

タイトル	高齢者が生涯にわたり「生き生き」と元気に暮らしていくための対策
-------------	---------------------------------

1 第7期介護保険事業計画に記載された内容

現状と課題

本町は総人口が年々減少している中、第1号被保険者である65歳人口は増加傾向にあり、第7期計画策定時には要支援者と要介護1の被保険者が認定者数の総数のうち50%を超える比率となっている。

計画策定時に実施したアンケート調査では、調査対象者のうち独居及び高齢者夫婦のみの世帯が4割近くを占めており、今後もこの傾向は増加していくものと推計しているところである。

また、介護が必要となった1番の理由が「高齢による衰弱」であり、他に転倒に対する不安を多くの高齢者が持っているということ、介護が必要になった際の主な介護者は配偶者であることから、要介護者の重度化予防はもちろんのこと、配偶者などの高齢の介護者が健康でいることが肝要となってくる。

第7期における具体的な取組

住民主体の介護予防の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者の集いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していく。

【展開する主な事業】

高齢者の運動グループの育成・支援（元気塾）

地区介護予防教室の開催

目標（事業内容、指標等）

高齢者の運動グループの育成・支援

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施回数	40	40	40	40
参加者数	80	80	80	80

地区介護予防教室の開催

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施回数		1	2	3

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・元気塾について、各年度当初の登録者数に対し、実際の参加者数の月毎の推移をカウントする。

2 平成30年度末実績

実施内容（平成30年度末まで）

高齢者の運動グループの育成・支援

	平成29年度	平成30年度
実施回数	40	40
参加者数	80	79

介護予防を観点とした運動教室を2会場で何20回ずつ実施し、参加者数は79人、延参加人数は457人であった。

地区介護予防教室の開催

	平成29年度	平成30年度
実施回数	2	1

○その他の実施内容

住民の介護予防活動への積極的な参加を促進する取組

町内の各老人クラブや地域からの要請等により、介護予防等に関する知識を深め、日々の生活へつなげることができるようになることを主眼として、介護予防に関する講話を実施した。

実施回数：18回 延参加人数：457人

自己評価

評価 _____ 以下の基準を目安に評価してください。

〔数値目標がある場合〕

達成率・・・80%以上：○，60～79%：△，30～59%：▲，29%以下：×

〔数値目標がない場合〕

達成できた：○，概ね達成できた：△，達成がやや不十分：▲，全く達成できなかった：×

課題と対応

今回の事業をはじめとした各種事業を展開することで、要介護認定を受けていない高齢者の割合は、ほぼ横ばいで推移している。

元気塾の登録者数について、計画値は登録者数の維持を目標としていたが、こちらが想定する事業の参加希望者よりも多数であったことから、参加できない方も見受けられた。

そのため平成31年度より事業を実施する会場数を1箇所増設し3会場で事業を実施することとし、多くの登録希望者に対応できるよう予算措置をしたところである。

今後も介護予防の重要性を周知し、各種事業の実施のほか講演会や講座を開催することにより、住民個々の介護予防に対する意識をさらに高められるよう努めていく。

本様式は参考様式であり、実績のとりまとめや評価・考察等について、各自団体で独自の様式により整理・公表等を行ったものがある場合は、それらの写しの提出も可とする。